

アドベンチャーツーリズムによる地域経済の活性化

Abstract

Our research is about improving local economies. A lot of local regions have great potential to flourish, however, they are not flourishing now, so we want to help their economies improve. We searched on the internet, and did thought experiments to solve the situation. We found adventure tourism. The definition means that the travel aims at achieving self-transformation and growth for the traveler. It should improve local economies because it is reasonably priced, but has a strong influence on the participants. They have great and large nature. Natural resources are enough. Adventure tourism perfectly suits local towns. In fact, a lot of towns have thrived thanks to it and the demand is increasing sharply.

はじめに

現状、日本における地域経済の多くは停滞の一途を辿っている。そこで、我々はある一つの街を「モデル都市」とし、その街を活性化する方法を考えることで、似た境遇の街に普遍的に通用するメソッドを作り出そうと考えた。我々はまず、観光業こそが地域経済の活性化に繋がる産業であると考えた。なぜなら、現在、日本の観光需要は上がっているからだ。そして、まずよく知っている福井県について考え、福井県の中でモデル都市にふさわしいであろう街を考えた。経済が停滞している街はいわゆる「田舎」であり、福井県の中でも特に「池田町」が「田舎」にあたる。池田町は自然などの観光資源が豊富にあるが、経済が停滞し人口も減少している。私達はその原因を「知名度」であると考えた。というのも、いかに池田町が自然豊かで魅力的な街といえども、知名度がなければ観光客は増えようがないからである。

しかしながら、広告は初期費用が非常に高く、広告をうっても人が来なければただ金を使っただけで成果が得られないというリスクがあり、とてもハードルが高いことだと考えた。多くの田舎はこうしたハードルを乗り越えることができずに観光業が衰退していったはずである。ここがクリアできれば、多くのそういった街も経済を再構築することができるはずである。我々はこの課題に対して、「間接的に知名度を上げる」ことで解決しようと考えた。どういうことかという、広告の性質を考えたときに、「一時的」かつ「効果が出るかわからない」というものが挙げられ、それならば金を使わずに少ない広告力であったとしても段階的かつ長期的にその存在をアピールできる方法を取ろうと考え、人づてまたは団体づてでの知名度の上昇をはかるということである。広告が強い

効果を発揮する例として、「高い満足度が得られることの確信」が得られる場合が挙げられる。

すなわち、行けば対価に見合った経験ができることが明白であれば、観光客はその広告の量に関わらず増えるのである。こういった効果的な広告を作るのは難しいが、そこで我々は「人づての感想」の有効性に気づいた。信頼ができる人物からの実感を伴った感想というのは広告よりもはるかに効果があるのである。そこで我々は知名度が低くてもある程度収益が見込めるものを探すという方針になり、調査を進めた。

調査方法

- ・福井県観光連盟への質問(メール)
- ・研究に関連したテレビ番組の閲覧
- ・成功例調査(先行研究を発見することができなかったため、これを先行研究の代わりとする)
- ・池田町について詳しい方に対面でインタビュー
- ・池田町の魅力の洗い出し

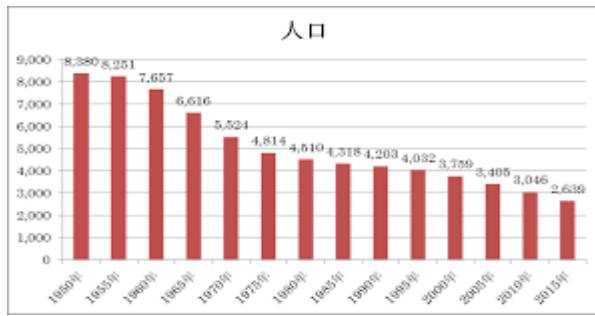
結果1

調査から、二つのことがわかった。
一つ目は池田町の現状について、
二つ目はアドベンチャーツーリズムが地域経済活性化及び、池田町活性化の鍵になり得るということだ。

下記でそれぞれ説明していく

池田町の現状と課題

- ・観光客は欲しいが従来の体制は変えたくない
- ・人口は減少傾向であり、少子高齢化も進んでいる(下図)



- ・観光資源(特に自然)は豊富にある
- ・人手が足りない
- ・多くの観光客を迎えるキャパシティがない

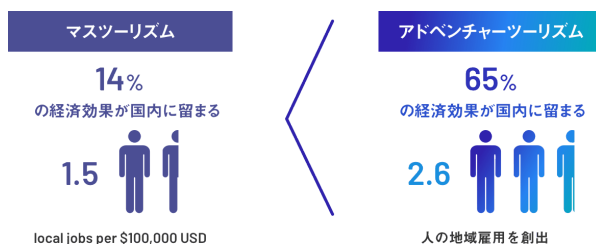
アドベンチャーツーリズム

まずはアドベンチャーツーリズムとはなにかの説明を行う。アドベンチャーツーリズムとは「旅行者が地域独自の自然や地域のありのまま文化を、地元の方とともに体験し、旅行者自身の自己変革・成長の実現を目的とする旅行」(日本アドベンチャーツーリズム協会のHP)であり、メリットとして、以下の3つの事がある。

1 一人あたりの単価が高いため、多くの人を呼び込む必要がなく、多くの人に知ってもらう必要がないので、宣伝費を抑えることができる。

2 地域の収入が大きい(アドベンチャーツーリズムを通して生まれた消費のうち、65%が地域に還元される)。

<https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/content>



3 少人数で自然や文化を体験する旅行であり、文化や自然に対する悪影響が少ない。

これらのメリットによって先程述べた池田町の手が足りない、多くの観光客を迎えるキャパシティがないという問題を解消することができる。さらに、アドベンチャー

ツーリズムによって多くの観光収益を上げることができれば、人口も増えていくと予想される。

これらのことからアドベンチャーツーリズムの有用性については理解してもらえたと思う。

ここからは、池田町がアドベンチャーツーリズムの条件を満たしていることを示す。

まず、アドベンチャーツーリズムの条件をかく。

①ほかでは味わえない、その場所ならではの体験であると感ずることができるか。

②自己が成長・変化していくと感ずることができるか。

③旅行前より心身ともに健康になったと感ずられるか。

④文化や自然に対する悪影響を最低限に抑えられていると感ずられるか。

①⇒日本最大級のジップラインや、かずら橋、こんにやく作り体験、豊かな自然など、池田町ならではの売りがたくさんあるので①は達成できる。

②池田町の自然と触れ合うことによって、レジリエンスを向上させることができるので②は達成できる。

③池田町と自然と触れ合うことで、精神的にリラックス&ストレス軽減ができるので③は達成できる。

④運動すること(ハイキングなど)によって体も健康になることができるので、④は達成できる

よって、池田町はアドベンチャーツーリズムの条件を満たしていると言える。

結果2

我々は、アドベンチャーツーリズムを利用したツアーが本当に池田町のような地域において利用でき、かつ経済効果があるのかどうかを確認し、その有用性を示すためにアドベンチャーツーリズムを利用したツアーを計画した。またこの過程で交通の問題などをクリアした。

一日目

魚釣り 2000円

昼食 2000円

かずら橋観光 500円

冠荘 20000円

二日目

メガジップライン 5000円

アドベンチャーパーク 4000円

こんにやくづくり体験 1500円

キャンプ 10000円

バーベキュー7500円

一泊二日予定者はここで帰宅のためキャンプはなし

三日目

アーシング(山菜採りなどをしながら自然を体験)

アーシング会場で食事(天ぷら等)

そば作り体験

道の駅で土産購入

土日を利用する観光客が多いという性質上、アドベンチャーツーリズムの「自己変革」と「高い単価」が成立しにくいという課題があったため、一泊二日の観光客と二泊三日の観光客を同じプランの中で分け、二泊三日の観光プランのコストパフォーマンスを上げることにした。

まとめ・考察

アフターコロナの日本の地域経済において、地方観光の救世主とも呼ばれるアドベンチャーツーリズムに着目した。アドベンチャーツーリズムの特徴・要素や先行例を研究していく中で、自然・文化など豊富な地域資源の面や地域における現状の課題の面から福井県・池田町にアドベンチャーツーリズムがかなり適合する可

能性があり、アドベンチャーツーリズムを用いた池田町観光プランを作成すれば、池田町の課題に対しても極めて有効な解決方法になり、経済回復の可能性やチャンスが十分にあると十分に考えられる。

今後は、予算などを確認するために池田町との実現可能性の検討や交渉、各観光地との連携の模索、ラグジュアリー戦略の検討を行っていけばと思う。

外部連携・出典

・池田町の在住有識者とのディスカッション(対面)

・福井県観光連盟とメールのやり取り

・NHK・「おはよう日本」内の特集(2023/09/07)、NHK福井「ニュースザウルス福井」内の「北陸新幹線県内開業を機に外国人富裕層を狙うツアー」(2023/09/25)など

・旅先での体験・交流を楽しむ「体験型旅行」の人気ツアー(地域創生などにかかわるIT企業TRUST BANKのHPより)

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001004.000026811.html>